

帰り道二

年 組 名前 ()

同じ出来事に対する律と周也のとらえ方や心情をまとめよう。

雨が上がり、二人で歩き始めたとき	天気雨に降られたとき	二人ともだまりこんでしまったとき	昼休みの出来事	「周也」が一人でしゃべり続けているとき	場面
<ul style="list-style-type: none"> ・「ぼく、()が好きだけど ()も好きだ」 ・さっきよりも() ()足音をきざんでまた歩き出した 	<ul style="list-style-type: none"> ・空一面から()の水が降ってきた ・気が付くと()が消えていた 	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼくに()のかな ・周也はぐんぐん()進んでいく ・ぼくは()ことが何で言えないんだろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・テンポにぼくだけが() ・周也が()きた ・()ものが、みぞおち辺りに()と() 	<ul style="list-style-type: none"> ・周也は普段と() ・ぼくだけがあのことを()いるみたい 	律
<ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは初めて律の()のかもしれない 	<ul style="list-style-type: none"> ・空からじゃんじゃん降ってくるそれが僕の目には()みたい ・律も()くれたのがうれしくてぼくはことさら大声を上げた 	<ul style="list-style-type: none"> ・僕の言葉は()すぎる ・律のほうはちんもくなんて()、いつだって、()なもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・はっきりしない律にじりじりして()を言った ・軽く()つもり ・()と思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・()みたにいふるまえば()ことになる。そんな()をすてた ・律はきつと()いる 	周也